



**2023年5月期 第2四半期決算
に関するFAQ**

**ジェイフロンティア株式会社
【証券コード】2934**

2023年5月期第2四半期の決算発表後に実施した機関投資家様との個別面談、及び個人投資家様説明会等においてご出席の方からいただいたご質問のうち、主な内容をまとめたものです。

※ 2023年1月13日に開催しました2023年5月期第2四半期決算説明会の質疑応答につきましては、2023年1月25日開示の「2023年5月期第2四半期決算説明会書き起こし」のP14以降をご確認下さい。

URL : <https://global-assets.irdirect.jp/pdf/tdnet/batch/140120230125593243.pdf>

Q1 SOKUYAKU 事業の売上高に季節変動要因はあるか？

A1 新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症の流行により、内科や発熱外来のオンライン診療の受診件数が増えることで売上高が増加することはありますが、特定の季節に売上高が偏るような季節変動要因はございません。

Q2 第 1 四半期と比べて、第 2 四半期 3 か月分の SOKUYAKU 事業の売上高が減少している理由は？

A2 自由診療クリニック向けの広告運用の売上高が、第 2 四半期から総額計上から純額計上に変更になった影響です。
 第 1 四半期までは主に当社のリソースで広告運用を行っていたため、売上原価と相殺せず、総額で売上高を計上しておりました。一方で、第 2 四半期では自由診療のオンラインクリニック立ち上げに注力すべく、社内のリソースを見直し、広告運用の外注比率が上昇したため、売上原価と相殺した純額で売上高を計上することになりました。

Q3 (Q2 に関連して)

第 1 四半期比、第 2 四半期 3 か月分の SOKUYAKU 事業の売上高の減少は、オンライン診療の利用料の減少ではないということか？

A3 ご認識の通りです。
 オンライン診療の利用回数は順調に増加しているため、利用料も増加しています。

Q4 (Q2に関連して)

広告運用の売上高が総額から純額に変更されたことにより、2023年5月期のSOKUYAKU事業の売上高の計画に変更はないのか？

A4 現時点では2023年5月期のSOKUYAKUの事業の売上高の計画に変更はございません。

自由診療のオンラインクリニックの業績寄与を見込んでいるためです。

また、中期経営計画最終年度の2025年5月期につきましても、自由診療のオンラインクリニックの拡大による業績寄与を見込んでいますので、計画値の変更はございません。

Q5 SOKUYAKUの提携医療機関数の伸びが、病院と比べて、薬局の方が大きい要因は何か？

A5 全国の利用者の方に処方薬を短時間でお届けするために、処方薬の配送の起点となる薬局との提携を優先的に進めていたためです。薬局との提携を進めることができたため、全国で利便性高くご利用いただけるサービスインフラを早期に構築できたと認識しています。

ただし、「かかりつけ医からオンライン診療を受診したい」、「万が一のために対面診療も受診できる医師から受診したい」などのニーズがありますので、利便性や安心感の更なる向上に向けて、病院との提携も引き続き進めてまいります。

- Q6 SOKUYAKU がオンライン診療市場におけるデファクト・スタンダードとなった場合、その後の事業展開としてどのような構想をもっているか？**
- A6 どの地域で、どのような属性の方が、どういう薬を飲まれているかといった膨大なデータを把握することが可能になります。
- 製薬会社などへのデータ提供によるマネタイズの拡大に加えて、健康食品・医薬品の購入や、診療といったアクションのリコメンドを、ユーザーに対して適時適切に行うサービスなど、健康寿命の伸長に資するようなサービスを検討してまいります。
- Q7 地方の過疎化が深刻化していくと思われるが、SOKUYAKU は地方医療にも貢献していくのか？**
- A7 貢献していきたいと考えています。
- 離島にお住まいで、フェリーで往復約 8 時間かけて通院されている方など、近くに病院・薬局がない地域の方から、特に高い利便性を感じてもらっています。
- 加えて、I&H との業務提携契約を締結し、離島やへき地など、地域医療の格差是正に向けた DX を推進しています（以下、URL ご参照）。
- URL : <https://global-assets.irdirect.jp/pdf/tdnet/batch/140120221104556586.pdf>
- また SOKUYAKU 端末を病院に設置することで、地方の病院にはない診療科の開設を行うことができました（以下、資料ご参照）。

導入事例：富山県 入善セントラル病院 ①

入善セントラル病院の課題

- 整形外科の専門医が不在である一方、近隣住民には高齢者が多いこともあり、腰痛や体の痛みに悩む患者は整形外科の受診を行うことが出来なかった

富山県の入善セントラル病院内にSOKUYAKU端末を設置し、
千葉県のス我セントラルクリニックの整形外科専門医へ接続

入善セントラル病院



患者

整形外科の
専門医から診察を
受けることが
できない



入善セントラル病院内に
SOKUYAKU端末を設置

専門医による
オンライン診療環境を提供

ス我セントラルクリニック



整形外科医

導入事例：富山県 入善セントラル病院 ②

- 患者は病院にいながら、専門医によるオンライン診療の受診が可能
- 診療後は病院内の窓口で会計を行えるため、SOKUYAKUアプリのインストールは不要

入善セントラル病院
(富山県)



遠隔地の医師に対して、事前に
レントゲンなどの情報を共有

病院内でオンライン診療

ス我セントラルクリニック
(千葉県)



整形外科の専門医による
オンライン診療

地域のコミュニティとなっている病院を活用し、高齢者でも簡単に受診が出来る
新しいオンライン診療の形をSOKUYAKU端末を用いて実現

引き続き地方の医療格差是正に向けた取り組みも進めてまいります。

免責事項

本資料で提供される内容の信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本資料に関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し如何なる保証も行わないものとします。

本資料は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用をしてはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて利用者自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更等に関連して利用者が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料は、ご理解いただきやすいよう、一部内容の加筆・修正を行っています。